

出荷検品ツール

1 概要

現状の出荷業務は、属人性が高く、特定の担当者以外では品目間違いや数量の計上ミスが ocorrênciaやすい業務になっている。
 「出荷検品ツール」を導入し、QRコードを活用することで品目間違いや数量間違い等の誤出荷を防ぐ仕組みを実現すると共に、誰が担当しても同じ品質を担保できるようにする。

2 実施内容と成果

出荷検品ツール、ハンディターミナルを導入し、出荷明細、出荷現品と現品票の照合がQRコードを読み込むことで完結できるシステムを構築した。これにより、担当者以外でも出荷準備が整えられるようになり、誤出荷件数も大幅に減らすことができた。出荷担当者も休暇を取得しやすくなった。
 今回は顧客1社の出荷業務を対象としたが、汎用性を考慮し設計したことで、他の顧客の出荷業務に適応できる目途も立った。

3 人材育成の取組

ハンディターミナルや出荷検品ツールのトレーニングを通じて、デジタル活用による業務の効率化に取組み、スムーズなシステム導入を実現した。

